



MATSUYA  
R&D

Think sewing Think future

# 2026年3月期 決算説明資料

株式会社松屋アールアンドディ | 証券コード: 7317

2026年5月



▶ **01 2026年3月期 実績**  
**02 成長戦略**

- 主にメディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯の売上増加のほか、セイフティシステム事業におけるカーシート事業の収益性が改善したことで、売上総利益、営業利益、経常利益ともに**過去最高**となりました。

| (単位:百万円)        | 2025.3<br>実績(A) | 2026.3<br>実績(B) | 前年同期比<br>(B/A) |
|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 売上高             | 9,567           | <b>9,771</b>    | 102.1%         |
| 売上総利益           | 2,907           | <b>3,219</b>    | 110.7%         |
| 売上総利益率          | 30.4%           | <b>33.0%</b>    | +2.6           |
| 営業利益            | 1,953           | <b>2,130</b>    | 109.1%         |
| 経常利益            | 2,054           | <b>2,206</b>    | 107.3%         |
| 税金等調整前当期純利益     | 2,050           | <b>2,044</b>    | 99.7%          |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,560           | <b>1,549</b>    | 99.3%          |
| 1株当たり当期純利益(円)   | 73.38           | <b>72.50</b>    | 98.8%          |

# 2026年3月期:セグメント別売上高 & 利益

- メディカルヘルスケアにおいては、血压計腕帯の出荷が増加したことで売上が大きく増加しました。
- セーフティシステムにおいては縫製自動機のインドでの設備投資需要が一旦落ち着いたことから減収となったものの、カーシートにおいてベトナムでの生産が堅調に推移したことから、採算性が改善し、通期では増益となりました。

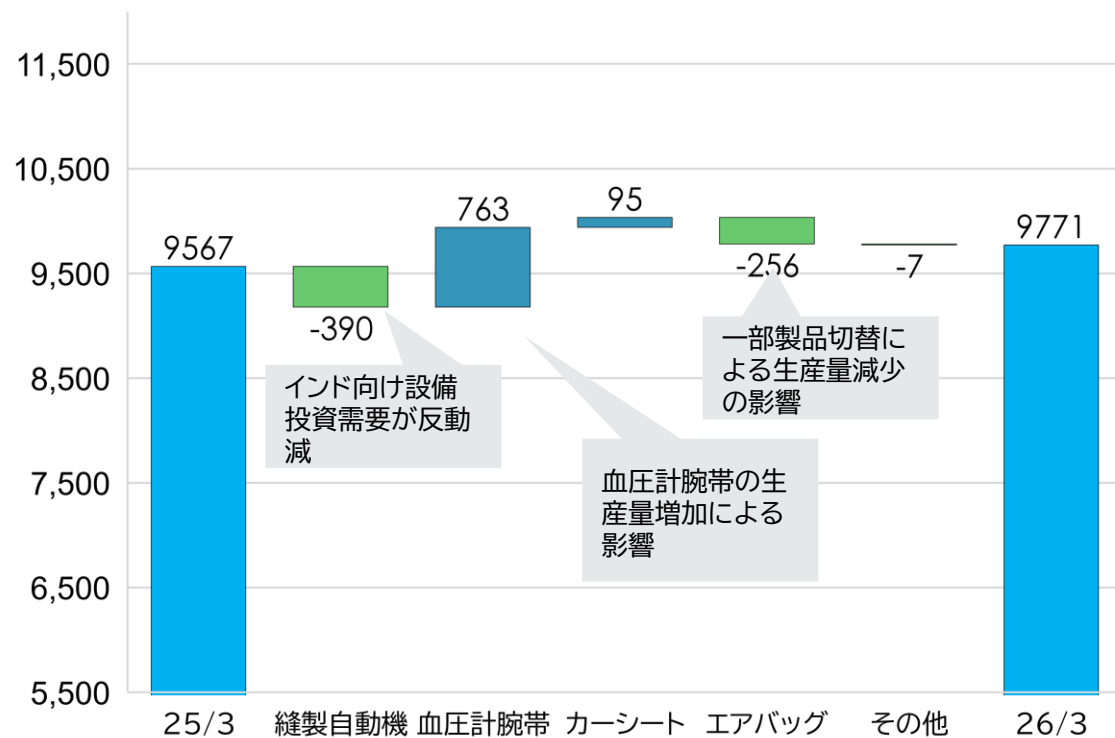
| (単位:百万円)       | 2025.3<br>実績(A) | 2026.3<br>実績(B) | 前年同期比<br>(B/A) |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| <b>売上高</b>     | 9,567           | <b>9,771</b>    | <b>102.1%</b>  |
| メディカルヘルスケア事業   | 6,059           | <b>6,808</b>    | 112.4%         |
| セーフティシステム事業    | 3,378           | <b>2,861</b>    | 84.7%          |
| その他            | 129             | <b>101</b>      | 78.8%          |
| <b>セグメント利益</b> | 1,953           | <b>2,130</b>    | <b>109.1%</b>  |
| メディカルヘルスケア事業   | 1,987           | <b>2,124</b>    | 106.9%         |
| セーフティシステム事業    | 252             | <b>397</b>      | 157.3%         |
| その他            | 31              | <b>△35</b>      | —              |
| <b>調整</b>      | △318            | <b>△355</b>     | —              |

# 2026年3月期実績:売上高及び営業利益の増減

- 血圧計腕帯とカーシートの生産増加により売上増加となりました。
- 営業利益面では血圧計腕帯とカーシートの生産増加に対して、賃上げによる人件費増加や開発費増加の影響を吸収した結果、最終的に増益となりました。

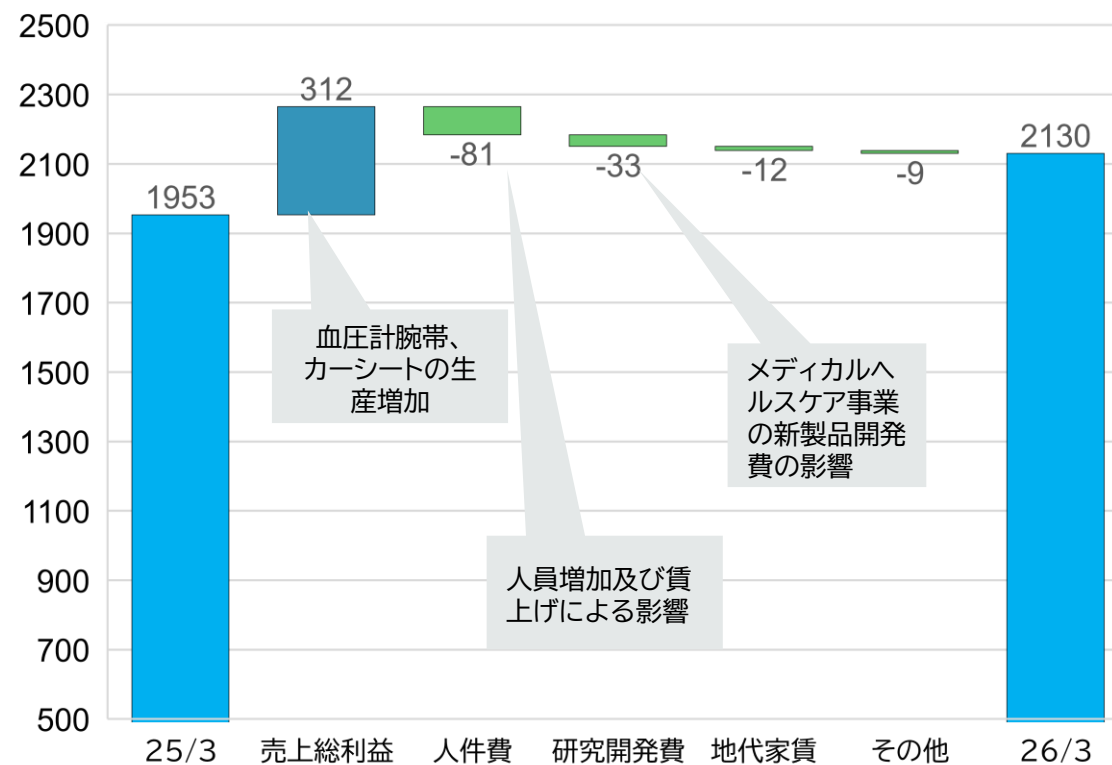
## 売上高

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



## 営業利益

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



# 2026年3月期:連結貸借対照表

| (単位:百万円)       | 2025.3<br>実績  | 2026.3<br>実績  | 増減                    |
|----------------|---------------|---------------|-----------------------|
| 現金及び預金         | 4,137         | 4,405         |                       |
| 売上債権等          | 1,307         | 1,986         | 取引拡大による売上債権増加。        |
| 棚卸資産           | 1,822         | 1,880         |                       |
| 有形無形固定資産       | 3,271         | 3,717         | 大野及びベトナムでの新工場投資による増加。 |
| その他            | 369           | 518           |                       |
| <b>資産合計</b>    | <b>10,907</b> | <b>12,507</b> |                       |
| 仕入債務           | 516           | 680           |                       |
| 借入金(長期含む)      | 2,308         | 2,300         |                       |
| リース債務(長期含む)    | 177           | 174           |                       |
| その他            | 972           | 1,203         |                       |
| <b>負債合計</b>    | <b>3,975</b>  | <b>4,357</b>  |                       |
| <b>純資産合計</b>   | <b>6,932</b>  | <b>8,149</b>  |                       |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>10,907</b> | <b>12,507</b> |                       |

# 2026年3月期:連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|                      | 2025.3<br>実績 | 2026.3<br>実績  |
|----------------------|--------------|---------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 2,570        | <b>1,272</b>  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △745         | <b>△1,074</b> |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △38          | <b>△283</b>   |
| 現金及び現金同等物の換算差額       | 24           | <b>△1</b>     |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,811        | <b>△87</b>    |

営業活動によるキャッシュ・フロー  
 血圧計腕帯及びカーシートなどで取引増加により売上債権が増加したことによるもの。

投資活動によるキャッシュ・フロー  
 大野及びベトナムでそれぞれ新工場建設への投資が発生したことによるもの。

財務活動によるキャッシュ・フロー  
 配当金支払の増額によるもの。

(単位:百万円)

|       | 2025.3<br>実績 | 2026.3<br>実績 |
|-------|--------------|--------------|
| 減価償却費 | 192          | <b>185</b>   |
| 設備投資  | △501         | <b>△620</b>  |

- 2025年12月15日公表の「オムロンヘルスケア株式会社による当社株式等に対する公開買付けの開始予定に関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」のとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから、2027年3月期の業績予想は記載しておりません。

01 2026年3月期 実績

▶ 02 成長戦略

# メディカルヘルスケア事業およびセーフティシステム事業の拡大

- ベトナムを中心とした生産基盤をもとに3D縫製自動化ラインなど自動化に取り組み、メディカルヘルスケア事業及びセーフティシステム事業のそれぞれの受注を拡大する。
- 既存事業にとどまらず、新たな事業へ果敢に挑戦する。

↑  
新たな業界への拡大  
↓

## Medical Healthcare

メディカルヘルスケア事業



## Safety System

セーフティシステム事業



血圧計腕帯の取組強化

(工程の自動化推進、サプライチェーン見直しなど)

リハビリロボット事業の強化(新製品導入なども取り組む)

ウェアラブル機器など新しい事業領域への進出

**日本・ベトナム新工場の安定稼働、MIC開発力強化** P.10 P.11

縫製自動機事業の海外販売の強化

エアバッグ・カーシート事業での取引拡大

新たな事業領域への進出  
(裁断工程の効率化サービス、生産管理システム etc)

ドローン用エアバッグの開発

# ベトナム生産受託事業の拡大：Honai第二工場の建設

- ベトナムにおいて血圧計腕帯やカーシートを中心に今後の生産量拡大が見込まれる状況にあり、現工場での生産スペースが不足する状況。
- 新規受注の増加に対応し、更なる生産スペースを確保するため、現在の工場の近隣地に新工場(敷地面積12,000㎡)を建設予定(2026年9月完成見込)。
- 2026年4月24日に地鎮祭を開催し、工事は順調。

## 概要

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 敷地面積     | 12,000㎡                               |
| 投資予定額    | 6億円~8億円(工場の建設費用のみ。土地については既に用地取得済みです。) |
| 資金計画(予定) | 自己資金                                  |
| 完成予定     | 2026年9月を予定 生産開始は2027年4月               |

工場完成予想



# 大野新工場(INNOVATION PLANT)建設

## 概要

現在の大野本社近くに新工場(INNOVATION PLANT)が完成。  
生産スペースの拡大と縫製自動機事業の新たな開発拠点として活用していく。

| 概要       |                       |
|----------|-----------------------|
| 所在地      | 福井県大野市鋤掛20字当境10番地     |
| 敷地面積     | 11,376㎡(うち、建物3463.5㎡) |
| 投資予定額    | 約2億円                  |
| 投資資産の内容  | 建物(内装・電気・空調工事等)       |
| 資金計画(予定) | 自己資金及び借入              |
| 完成       | 2026年3月               |

## 工場外観



- 安定収入を生み出すベトナムを中心とした生産基盤を活かし、次世代縫製自動機の開発及び新規事業を中心に経営資源を投入し、持続的な成長を目指します。



2026/3/31

将来

## 本資料の取扱について

---

本資料には、将来に関する見通しや、事業戦略が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性が含まれており、実際の業績等が、これらの見通しや予測とは異なる結果となる可能性があります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界、ならびに市場状況、金利、為替変動等の国内外の経済状況が含まれます。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等については当社は何ら検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。